

第8回布川一茶会

昨年 12 月 2 日（土）、徳満寺において「第 8 回布川一茶俳句大会」が開催され、町内外問わず約 800 もの投句が集まりました。

今回はその中から見事、入賞・特選を獲得した方々の句をご紹介します！

選者紹介

「馬酔木」主宰 徳田千鶴子先生 「軸」 主宰 秋尾 敏 先生
馬酔木同人 神宮きよい 先生



事前投句（児童・生徒の部）【敬称略】			
布川一茶句会賞			
寒稽古 ふみこむ一歩 息白く	文小五年	小林 嘉人	
利根町長賞			
紅葉ちる 沼に竿ふり へらを釣る	利根中一年	豊島 雄大	
教育長賞			
ぼうし飛ぶ 秋風強し 今日のこと	文間小六年	丸山 隆星	
徳満寺賞			
赤とんぼ ぼくの頭で おちついた	布川小五年	寺門 悠人	
事前投句一般の部【敬称略】			
布川一茶句会賞			
天の川 大利根の源流 かもしれない	守谷市	上野 靖子	
利根町長賞			
すれちがふ 影が影踏む 良夜かな	利根町	平塚 利雄	
徳満寺賞			
衣更え 夫の行李に 部隊の名	龍ヶ崎市	中山 美恵子	
特選			
歳月を 映す琥珀や 梅酒酌む	土浦市	飯島 正和	
秋の花 紅しポイントは 眠ること	守谷市	齋藤 和子	
印旛沼 ぐるりと刈田 大刈田	印西市	渡邊 安雄	
少年の 直情吸い込む 大夏野	守谷市	安田 政子	
忘却は 優しさを生み 秋の虹	取手市	宇津野登久子	
つま先で ぴたっと止まる 秋のはえ	南九州市	内村 愛里紗	
台風の 暗号解いた 日曜日	南九州市	東園 琉生	
当日投句の部季題「冬ぬくし」【敬称略】			
布川一茶句会賞			
冬ぬくし 一茶行脚の 宿消えて	利根町	高野 鬼堂	
町長賞			
とねりんも 寺に遊ぶや 冬ぬくし	利根町	若松 恭子	
徳満寺賞			
木の瘤も 地蔵の貌に 冬ぬくし	取手市	宇津野登久子	
特選			
木もれ陽の 寝釈迎映して 冬ぬくし	利根町	長島 平衛	
冬ぬくし 無常のかたち 地蔵尊	守谷市	斎藤 澄子	
冬ぬくし ゆがむ石段 七十五	利根町	大野 三枝子	
最高得点賞			
冬ぬくし 寺は幾世の 色重ね	利根町	大野 英二	

男女共同参画ってなあに？ Part 49

仕事と介護の両立 ～介護離職を防ぐために～

高齢者人口の増加とともに、介護保険制度上の要支援・要介護認定者数は増加しており、今後、団塊世代が 70 歳代に突入することに伴いその傾向は続くことが見込まれます。

介護者は、とりわけ働き盛り世代で、企業の中核を担う労働者であることが多く、企業において管理職として活躍する方や職責の重い仕事に従事する方も少なくありません。そうした中、介護は育児と異なり突発的に問題が発生することや、介護を行う期間・方策も多種多様であることから、仕事と介護の両立が困難となることも考えられます。

このため、厚生労働省では、育児・介護休業法に定められた介護休業制度などの周知徹底を図り、企業および労働者の課題を把握し事例集を作成するなど、介護を行っている労働者の継続就業を促進しています。



労働者の方へ

継続的に介護を行うためには、経済的な負担がかかります。

また、介護が終了した後の生活を視野に入れて考えても、経済的基盤は重要です。介護に直面しても、すぐに退職することなく、仕事と介護を両立するための制度を活用して、仕事を続けながら介護をしましょう。

事業主の方へ

経験を積んだ熟練従業員や管理職など企業の中核となる人材が、仕事と介護の両立に悩み離職してしまうことは、企業にとって大きな損失です。

離職する従業員や心身ともにストレスを抱える従業員が増える前に、仕事と介護の両立支援の取り組みを始めることが必要です。

厚生労働省のホームページには、仕事と介護を両立するための支援策が、労働者と事業主の両者の立場から詳しく紹介されています。

検索キーワード

仕事と介護の両立



交通事故死亡事故ゼロ連続 3,000 日達成！

▶ホールに響き渡る豪快な演奏でした！



感謝状の贈呈や茨城県警察音楽隊の方々を御招きし、演奏を披露していただきました。

現在、町は、交通事故死亡事故ゼロ連続日数において、茨城県内歴代 1 位を維持し続けています。県内 1 位から全国 1 位を目指し、「交通安全の町、利根町」として、記録を更新し続けられるよう交通安全啓発活動を実施していきます。

犯罪や非行のない社会を願って！

▶受賞おめでとうございませす！



昨年 12 月 26 日（火）に、茨城県総合福祉会館にて、第 67 回“社会を明るくする運動”作文コンテストの表彰式が開催され、県内応募総数、小学生の部 4,237 点、中学生の部 6,423 点の中から、布川小学校 6 年生の宮崎七香さん（作品名『社会を明るくするために』）が、特別賞 水戸ホーリーホック賞を受賞されました。

今回の表彰式は、昨年 7 月に県内各地で開催された、“社会を明るくする運動”の地区大会における作文コンテストの最優秀作品の中から、茨城県推進委員会が特に優秀な作品を選抜し、表彰したものです。

災害時にこそ手を取り合って！

▶協定締結式に出席された各市町村長



1 月 29 日（月）、利根町を含む県内 35 市町村は、「原子力災害時における広域避難に関する協定」を福島県いわき市と結びました。

この協定は、福島第 1・第 2 原子力発電所において、原子力災害が発生し、避難が必要と認められる場合に、茨城県内 35 市町村がいわき市民を円滑に受け入れるための事項を定めたものです。町の受入避難者数は、約 1,400 人、福島県内においてスクリーニングを実施し安全を確認したうえで、自家用車などにより避難を行います。文小学校を受入中継所とし、避難者数に応じて他の避難所への誘導などを行います。受入期間は、原則 1 カ月以内とし、避難に要する費用はいわき市が負担することになっています。

町の話 話題 PHOTO NEWS

学校と地域が連携して防災訓練！

▶みんな真剣に講習を受けています！



昨年 12 月 5 日（火）に学校・地域・防災関係機関が一体となった防災訓練を文間小学校において開催しました。

当日は好天にも恵まれ、参加された保護者の皆さんや地域の方は、起震車体験や消火訓練、応急手当の実習などを体験しました。また、昼食は備蓄米での炊き出し訓練を兼ね、竹を使用した炊飯なども実食していただきました。

町教育委員会では、学校と地域が連携した防災訓練について、今後も継続して実施できるよう支援していきます。

未来ある子どもたちのために！

▶佐々木町長（右）と茨城県第 24 団団委員長武谷昭子氏（左）



町を中心に活動してきたガールスカウト茨城県第 24 団が解散され、活動費の残金 100 万円を図書購入費として、毎年 20 万円を 5 年間、利根町図書館に寄贈していただくことになりました。

昨年の 12 月 22 日（金）役場において寄贈式が行われ、ガールスカウト茨城県第 24 団団委員長武谷昭子氏より図鑑などの児童用図書 59 冊が寄贈されました。

町では、寄贈された図書を利根町図書館におき、貸し出し用図書として子どもたちの調べ学習に利用させていただきます。

茨城県知事賞を受賞！

▶知事賞入選を受賞された志村さん



1 月 26 日（金）、『平成 29 年度茨城県下水道促進週間コンクール』知事賞入賞者の表彰式が茨城県庁講堂において開催されました。県内 44 市町村から応募された作品総数は、本コンクール過去最多の 59,285 点にも上りました。その作品の中から入賞 60 点が選ばれ、本町でも「絵画・ポスター部門」で布川小学校 4 年 志村実桜さんの作品が見事「知事賞入選」に選ばれました。

